

(様式第2号)

# SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和5年7月17日
事業者名:	株式会社 長瀬土建

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・脱炭素経営を行うため、Scope1,2排出量を把握し中小企業版SBTの認定を受け、脱炭素に向けた取組みを行う。 ・国県市道、林道、河川、公園等の公共施設の清掃ボランティアや修繕活動を他団体と協力し実施している。	⑬気候変動に具体的な対策を、⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑮森の豊かさを守ろう	・現在、中小企業版SBT申請中(近日中に登録完了) ・令和5年度(7月現在) 国道、県道、林道、公園の草刈、ゴミ拾い、修繕補修を実施済み	指標	・CO2排出量 ・環境に係るボランティア活動回数
				目標	・CO2排出量を2021年度比42%カットを達成する。 ・ボランティア活動を年5回以上実施し、住みよい環境の地域を作る。
社会	・地元保育園、小・中学校、高校への講演会や現場見学会の実施、大学生のインターンシップ受け入れにより、SDGsの概要やインフラ整備の重要性、防災などの大切さを教えている。 ・地域住民が参加できる著名人の講演会を開催している。	④質の高い教育をみんなに、⑪住み続けられるまちづくりを、⑰パートナーシップで目標を達成しよう	・令和5年度講演等実施(7月現在)として高校への講演3校、小学校講演・現場見学1校 ・令和5年度講演会の開催は萩原智子氏(シドニー五輪日本代表)を招聘。※今回で8回目	指標	・講演会等の実施回数
				目標	・地元保・小・中・高校への講演 ・現場見学会を年1回以上実施する。
経済	・森林業の先進地ドイツで学んだ自然と調和した道路(生態系にも配慮した環境再生型林道)を日本で施工する。 ・自然工法管理士の資格取得を推進し、環境に配慮した工法で工事を実施する。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう、⑧働きがいも経済成長も、⑮森の豊かさを守ろう	・高山市内における施工実績は数箇所あり。その他、中部森林管理局における森林土木分野新技術・新工法プレゼンテーションを行った。 ・自然工法管理士資格取得者6名	指標	・欧州式屋根型作業道の有効性、必要性に関する講演回数 ・自然工法管理士資格取得者数
				目標	・講演回数 3回/年 ・自然工法管理士資格取得者 1人/年
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・毎月実施される定例会や朝礼において、取組みの計画や実績の報告を行うとともに、SDGsなどのテーマに沿った勉強会を実施している。 ・工事現場でのSDGsに関する取組みを看板として掲示(見える化)し、従業員の意識向上を図っている。			
ガバナンス	チェック				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・SDGsの取組み記載ページのURL: <a href="https://www.nagase-const.com/">https://www.nagase-const.com/</a> ・ホームページ以外の取組みの公表方法: 岐阜県HP・高山市HPでのSDGsの取組みPR報告多数。新聞等メディアにおける掲載多数。			